



草津市教育委員会だより

コンパス COMPASS

第8号

発行：平成27年2月15日
草津市教育委員会

夢を心に誓って

成人式(草津市成人の日記念式典・20歳のつどい)を平成27年1月12日(月・祝)に開催しました。



新成人49人で組織する「20歳のつどい実行委員会」が企画・準備・運営を行いました。今年のテーマは「誓心～seijin～」です。実行委員は参加者の前で自分の夢を発表し、「皆さんもこの成人の日、夢を心に誓い、夢に向かって頑張ってください」とメッセージを送りました。

新成人代表が立派に決意の言葉を述べてくれました。



実行委員代表の掛け声のもと、全員で市民憲章の唱和を行いました。未来ある草津の若者の姿に、市長も感慨深げな面持ちをされています。

中学校時代の恩師からのビデオレター上映などもあり、和やかな雰囲気の中、成人式を開催することができました。

生涯学習課 TEL(561) 2427 FAX(561) 2488

ごあいさつ

草津市教育委員会委員 杉江由紀子



この度、草津市教育委員会委員に就任いたしました杉江由紀子でございます。草津市の教育行政に関わらせていただく職責の重さ、

大きさに身の引き締まる思いです。教育・教育行政は社会から常に注目を受ける関心の高い分野であり、それだけにやりがいのある職責であると意を新たにいたしております。

草津市の教育は、教育振興基本計画において「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」を基本理念に掲げてきました。子どもやすべての人びとの心の輝き・学びの姿勢を基盤に据え、現代社会の変化や状況に対応した教育環境づくり、全国に先駆けた有効な教育実践をしてきたと認識しております。

ふるさと草津に存在する豊かな自然環境・輝かしい文化、歴史遺産・地域の温もり等、これらを繋ぎ、教育的価値に高めていく取組こそ、今後も求めていく保育・教育には重要なことではないでしょうか。これまで連綿と受け継がれてきた「不易なもの」と、変化し進化する「流行」を融合させつつ、知恵を出し、汗をかきあい、生涯にわたって生きる力を育み、学ぶ喜びのある草津の保育・教育を目指していかねばなりません。

教育行政に携わる一員として常に前向きに真摯に課題に向き合い「子どもも大人も輝き、人と人とのつながるまち」の実現に貢献してまいりたいと思います。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

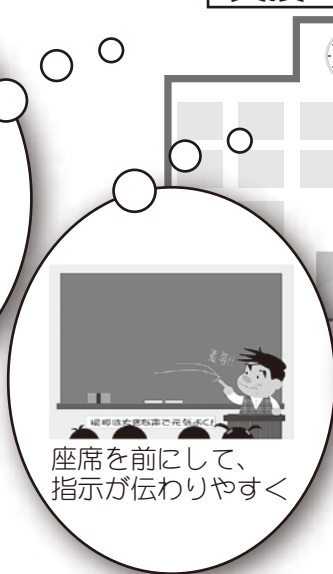
草津市が進める特別支援教育

草津市では一人ひとりの子どもの特性に応じた指導と、障害がある人もない人も、互いを尊重し、ともに学ぶ仕組みづくりに向けて、次の3つのことを大切に特別支援教育を進めます。

1. 障害のある児童生徒が安心して学ぶための環境を整え、適切な支援に努めます。
2. 児童生徒のすこやかな成長を願う中で、児童生徒やその保護者の思いを尊重し、本人の適切な学びの場を選べるように支援を進めます。
3. 障害のあるなしに関わらず、すべての児童生徒が「できる」喜び、「わかる」楽しさを感じられる授業づくりを進めます。

草津市では、今後も児童生徒ならびに保護者の多様なニーズに耳を傾け、特別支援教育の充実・発展に努めます。

支援の具体例



問 学校教育課 TEL(561) 6034 FAX(561) 2488

教育・研究

地域とともに歩む道徳教育・・・

道徳教育研究発表会から

11月に、矢倉小・高穂中で文科省・県教委指定道徳教育研究発表会が開催されました。県内・市内からの多くの参会者の中に、地域のかたがたの姿もありました。高穂中で毎朝交通安全活動をしているA氏は、地域から参加して意見を聞かせて欲しいと声をかけられたとのこと。「子どもたちが健やかに育ってくれるのは、今日見せてもらった道徳の授業や先生の指導も大事ですが、学校だけではなく、地域も道徳を育てていく素地をもっと作っていかねければならない」と感想をいただきました。

授業後の生徒の感想には、「弱い自分がいることを改めて見つけることができ、その弱い自分に勝てる強い自分てがんばりたい」とありました。学校と地域が、総力を挙げて子どもたちを支え、導いていくことの大切さを訴えかけているように感じます。

矢倉小では4年生の「矢倉の記憶絵」の授業公開がされ、子どもたちは記憶絵作成に尽力されたかたがたから、記憶絵への強い思い、願い、苦労話を聞き、矢倉の良さを語り継いでいこうという郷土愛を養っていききました。4年目になるこの取組は、地域の教育力が子どもたちに直接働きかけ、子どもたちの心情を大きく動かし続けています。まさに地域とともに歩む道徳教育でした。学校と地域の連携を、もう一度、道徳という視点でとらえ直してはいかげでしょうか。どうぞご支援をお願いします。



問 草津市立教育研究所

TEL(563) 0334 FAX(563) 0117

平成26年度「各界トップのスペシャル授業in草津」

国際社会に生きる

「各界トップのスペシャル授業in草津」は、今年度で6年目となる事業で、各界の専門家や著名人を講師としてお招きし、市内各小中学校で特別授業を行っています。講師のかたがたには、専門分野の内容やこれまでの体験談、ご自身の生きかたや子どもたちへの願いを語っていただいています。

今年度は、「国際社会に生きる」をテーマに、国際協力・国際理解・国際交流・国際的な研究開発や業績等で、世界的にすばらしい活躍をされているかたがたを講師にお迎えし、昨年9月から今年2月までの間に、市内全19小・中学校で実施しています。各界の第一線で活躍されるかたに学ぶ授業を通して、草津の子どもたちが将来への夢や希望を持ち、人としての責任や社会貢献の大切さについて学んでほしいと願っています。



↑ 立命館大学BKC経済学部長
松原 豊彦さん（高穂中）



チェロ奏者
ウィリアム・ブランクルさん
（笠縫東小）



JICA（国際協力機構）関西
所長 築野 元則さん
（常盤小）

プロボクサー・山中慎介選手のスペシャル授業

夢をかなえるために・・・

1月15日、松原中学校で実施したスペシャル授業には、滋賀県出身で、WBC世界バンタム級チャンピオンのプロボクサー、山中慎介選手を講師にお迎えしました。

山中選手は、チャンピオンベルトを手に登場されたあと、生徒のインタビューに、1つ1つ丁寧に回答してくださいました。左手から繰り出される鋭いパンチが「神の左」と称される世界トップクラスの技術も披露され、生徒たちから歓声が沸きあがりました。

また、「夢をかなえるために・・・」のテーマについて、夢を口に出すこと、地道な練習を欠かさないことの大切さを語られ、「継続は力になる」というメッセージを伝えてくださいました。

山中選手の熱い言葉と拳が、生徒たち一人ひとりの胸に刻み込まれた1日となりました。



ボクシングのテクニックを直伝!



万国旗のような飾りには生徒から山中選手への応援メッセージが1枚1枚書かれています。



素晴らしい授業のお礼に生徒たちからは手作りの記念品と花束が贈られました。

草津市立 草津クシアホールの開館

文化芸術の輪がさらに広がり、子どもも大人も笑顔あふれ輝ける草津をめざして

県から「しが県民芸術創造館（野路六）」の移管を受け、平成27年1月6日（火）、「草津市立草津クシアホール」が新たに開館しました。

この開館に先立ち、ホールの客席や音響設備の改修工事、練習室の防音音響工事などを実施し、実演環境の改善を図りました。

草津クシアホールは、市民の皆様の文化芸術活動と、未来を担う子どもたちへの事業を支援する市の新たな文化振興を担う重要な施設として位置付けています。

今後、草津クシアホールを拠点とし、草津アミカホールと連携を図りながら、さまざま



問

まな文化芸術事業を実施する予定です。

ぜひ、ご利用ください♪

草津クシアホール

TEL (564) 5815

FAX (564) 5857

生涯学習課
TEL (561) 2488
FAX (561) 2488



みらしるべ

野路の玉川

和歌を詠むときの典拠となる枕詞・名所を歌枕といえます。その歌枕として古くから知られたもののひとつに玉川があります。近江野路の玉川・山城（京都府）井手の玉川・摂津（大阪府）三島の玉川・武蔵（東京都）調布の玉川・陸奥（宮城県）野田の玉川・紀伊（和歌山県）高野の玉川の、全国でも名高い六か所を六玉川といい、古歌に多く詠み込まれました。

このうち、野路の玉川は、萩の玉川とも呼ばれ、江戸時代の歌川広重の浮世絵や、『伊勢参宮名所図会』の挿絵には玉川の清流と咲き乱れる萩の風情に山の端から秋の月が昇る風景と、和歌を詠む源



歌川広重画 諸国六玉川近江野路之玉川



俊頼と従者が描かれています。挿絵には源俊頼の「あすも来む野路の玉川萩こえて色なる波に月やどりけり」という歌が添えられています。名所とは、そもそも、名だたるどころ、古歌に読まれたところの意味で、かつてここが、文人墨客たちが和歌を詠む詩想を呼び起こす名所であったことがうかがえます。しかし享和元年（一八〇一）、戯作者大田南畝は『改元紀行』に、街道から少し脇に一間あまりほどの池がある。これが野路の玉川跡で、「六玉川の一つなり」と聞くにも、越ゆべき萩も見えねど、色なる浪の月のむかし忍ばずしもあらず」と記しています。すでに一八世紀には、源俊頼が詠んだような清流に咲き乱れる萩の光景はなく、名所図会や浮世絵の描写によって、往時の風情に思いを馳せたとされます。名所図会や浮世絵以外にも、天保二年（一八三一）には、地元の色萩山季玉道人が「近江国玉川之図並二由来」と題する木版の摺物を刊行し、名所・野路の玉川のPRに努めています。

問 草津宿街道交流館

TEL (567) 0030
FAX (567) 0031

記事に対するご意見、ご感想などがございましたら、下記までご連絡ください。

草津市教育委員会事務局 教育総務課

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号

TEL : 077-561-2425 (直通) FAX : 077-561-2488

教育委員会の活動については、草津市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/>

草津市 検索

第9号は
6月1日発行予定です。

「コンパス」は、円を描く道具と、方位を示す羅針盤の二つの意味を持っています。

本誌の提供する情報が皆さまの「縁」や「輪」を描くことができるように、また、教育の進む方向を示す道しるべとなるように、という想いを込めています。

